

みんなが主役

学習発表会

1年生 毎日音読練習をした「くじらぐも」のお話の続きを、子ども達が登場人物となり演じました。空を飛んだり秋探しをしたり、台詞、歌、鍵盤ハーモニカの演奏も合わせ、とってもかわいいメルヘンの世界でした。



2年生 登場人物を描いたかわいい手作りお面を頭にかぶり、「お手紙」の群読をしました。長い話をしっかりと覚え、みんなの気持ちを合わせました。ダンスはリズムに合わせて笑顔いっぱい、全身で楽しさを表現しました。



3年生 体育館を縦横無尽に動き回る、元気で力強い「ソーラン節」の踊りに心が弾みました。踊りとかけ声を交互に分担した、1組と2組のチームワークも完璧で、指先まで神経を集中して力を込め、パワー炸裂でした。



4年生 「楽しいマーチ」「ごんぎつね」「陽気な船長」をグループ別に演奏し、最後は6種類の楽器を使い、ディズニーランドの世界へ招待してくれました。みんなで心を一つにして奏でる素晴らしさを感じました。



5年生 車の製造過程や未来の車について、調べたことを写真や模型、クイズ等を使いながら工夫を凝らして、わかりやすく発表しました。子ども達の車に対する知識の深さや興味の高まりが伝わってきました。



6年生 「大多喜城讃歌」から、大多喜町の歴史を紐解き、リコーダーと鍵盤ハーモニカの演奏に合わせ、踊りも披露しました。最高学年として大多喜町の歴史を深く学び、凜とする姿に、町の明るい未来を感じました。



金管部 演奏曲「AFRICAN SYMPHONY」からは、躍動感あふれる力強い大地の響きを感じました。パワフルな「紅蓮華」は6年生11名が中心となり演奏し会場を盛り上げました。郡市音楽発表会やクリスマスコンサートは中止となりましたが、子ども達の熱意は、演奏曲にのせ、会場にいるおうちの方や6年生、モニターを通し全校児童の心に響きました。



※各学年の発表を別会場で児童は参観し、互いの良さを学びました。

学習発表会の様子はホームページにも掲載しています。

全校マラソン

12月1日から全校マラソンが始まりました。感染防止のために、低・中・高学年が別々の時間帯に森田ロードを、毎日5分間走ります。毎年、全校マラソンの時間以外に、自主練習に取り組んでいる子どももいます。マラソンを通し、目標をもち最後までがんばる強い心が育まれます。北風に負けず、子ども達が力走できるように、体調管理に気をつけてください。大会では低学年800m、中学年1000m、高学年1500mの距離を走ります。



保護者希望面談

面談は、担任と保護者で互いに連携を図りながら、お子さんの育ちを支えるために、重要な役割を果たします。限られた時間ではありますが、聞いてみたいこと、悩みや不安なことなど、積極的にご相談ください。一緒に考えていきたいと思ひます。面談を希望されなかった保護者の皆様も、学校は毎日が面談日です。連絡帳や電話、直接お出でいただくなどして、気軽に声をかけてください。「考える」「悩む」よりは、まず相談です。お待ちしております。



書き初め指導

日本の伝統的文化である「書き初め」の指導のため、平成30年度末に本校を退職された井上理枝先生を講師にお招きします。作品には子どもの心が表れます。気持ちを落ち着かせ、集中して自分と向かい合うことで、満足できる作品が完成すると思ひます。1月には、書き初め展を開催します。ぜひ、ご覧ください。

